

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 10 月 28 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3870104449		
法人名	社会福祉法人 愛寿会		
事業所名	グループホーム であい		
所在地	松山市余戸南5丁目3-18 (電話) 089-972-5511		
管理者	角田 京子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 9 月 19 日	評価確定日	平成 20 年 10 月 31 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 8 月 5 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 11 月 9 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 11 人, 非常勤 1 人, 常勤換算	11.7 人

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	8,000 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 8 月 5 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 名	女性 18 名
要介護 1	1 名	要介護 2	4 名
要介護 3	7 名	要介護 4	2 名
要介護 5	4 名	要支援 2	名
年齢	平均 84.5 歳	最低 74 歳	最高 96 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、広い敷地に建てられた高齢者総合福祉施設の1階部分にある。共用空間は明るく、季節を感じられる飾り付けがなされ、中庭には自由に出入りすることができ、くつろげる空間となっている。職員は、理念に沿って利用者の日々の暮らしを支えており、利用者が穏やかに自分のペースで自由に過ごしていることからそのことがうかがえる。また、利用者はホーム内及び施設の行事に参加する機会が多く、音楽療法は楽しみの1つとなっている。職員は積極的に内外の研修会に参加して質の向上に努めている。月1回ターミナルケアの勉強会も行っている。施設として介護予防教室を開いており、地域の方に参加してもらっている。

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

管理者及び職員は地域密着の意義について理解しており、現在の理念について再検討を行った結果、変更は行っていない。運営推進会議のメンバーとして民生委員にも参加をお願いしている。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

管理者及び職員は評価の意義を理解しており、職員全員で取り組んでいる。自己評価をすることにより日々のケアの振り返りにもつながっており、サービスの質の向上に活かすようにしている。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

利用者及び家族、地域住民、市担当者、地域包括支援センター職員、施設長をメンバーとして開催し、ホームの活動計画・報告や意見交換を行っている。地域住民は民生委員に固定されているので、他の住民にも声をかけて参加してもらえるような取り組みを期待したい。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の来訪時に話を聞いたり、家族会や運営推進会議でも意見を言ってもらえるよう心がけている。重要事項説明書にホーム及び公的な苦情受付機関を明記しており、玄関には意見箱を設置している。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

自治会には入っていないが、ボランティアに来てもらったり、祭りの時には神輿が入ってくれている。近隣を散歩する時には近所の方と挨拶を交わしている。また、施設として、地域の方に参加してもらって介護予防教室を開催している。ホームの行事は家族の参加が主となっており、ホーム独自の地域との交流機会はまだまだ多いとは言えない。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム であい

(ユニット名) 桜の宿

記入者(管理者)  
氏名 角田 京子

評価完了日 平成 20 年 8 月 25 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 利用者様とどんな風に暮らしたいか職員とBS法で考え作った  (外部評価) 利用者の日々の生活を支えるために職員全員で考えた理念であり、開設当初からのものである。地域という言葉は入っていないが、運営方針に地域社会とのつながりを図ることが書かれており、職員も認識している。再度検討した結果、理念の変更は行わないこととしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念をエットの目につくところに掲示し取り組んでいる  (外部評価) 理念は各ユニットの見やすいところに掲示し、管理者及び職員は理念に沿って利用者の日々の暮らしを支えている。利用者の穏やかで明るい表情や、各々のペースで自由過ごしていることから、そのことがうかがえる。	※	職員全員が理念を理解し共有できるように話し合いの場を持ち日々取り組めるようにしたい
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ご家族様にはご理解いただいていると思うが地域への浸透は出来ていない	※	運営推進会議や介護予防教室を活用して地域に理念の浸透を図りたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 出・退勤時やご利用者様との散歩時に挨拶や声掛けを行うと共に、近隣の施設の行事に参加したり、当施設の季節行事に参加の声掛けを行っている	※	ご近所や近隣の施設に季節のイベントの声かけを行う
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 近隣の施設の行事に参加したり、当施設の季節行事に参加の声掛けを行い交流を深めている  (外部評価) 自治会には入っていないが、ボランティアに来てもらったり、祭りの時には神輿が入ってくれている。ホーム周辺を散歩する時には近所の方と挨拶を交わしている。また、施設として介護予防教室を開催しており、地域の方が出席している。管理者が民生委員の会に出席しているが、ホーム行事は家族の参加が主となっており、ホーム独自での地域との交流は多いとは言えない。	※	運営推進会議や民生委員会を活用して地域に理念の浸透を図りたい  重要事項説明書の運営方針に書かれているように、利用者の地域参加は地域社会とのつながりの基本であり、施設としてだけでなく、ホーム独自で地域との交流機会を多く持つような取組みを期待したい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 総合福祉施設として高齢者等の相談に親身に対応している		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価することで意義を理解し評価を職員全員で受け止め改善に向けて取り組んでいる  (外部評価) 管理者及び職員は評価の意義を理解しており、自己評価も全員で取り組んでいる。自己評価することにより、日々の振り返りができている。外部評価については改善項目について話し合い、改善に取り組んでいる。また、運営推進会議でも報告している。	※	見直しをしたことを忘れない様にワーカー会などで折に触れて話し合い取り組む

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1回会議を開催し活動報告や取り組み内容を報告し話し合いの場を持ち助言等も頂き取り組みに役立っている  (外部評価) 利用者及び家族、地域住民、市担当者、地域包括支援センター職員、施設長をメンバーとして開催し、ホームの活動計画・報告や意見交換を行っている。地域住民の参加は民生委員に固定されている。	※	さらに地域との交流を深めるためにも、民生委員だけでなく町内会長など他の住民にも声をかけて参加してもらい、地域の情報や意見などを聞くことを望みたい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市町村と常に連携をとり質の向上に取り組んでいる  (外部評価) 書類上の手続きや分からないこと、また生活保護の利用者についてなど、連絡や相談をしてサービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護や成年後見制度について知り支援できるように努めている		勉強会を開催し制度を判りやすく理解できるように努める
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止法について知り虐待防止に努めている		勉強会を開催し制度を判りやすく理解できるように努める

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に時間を掛けて説明しご本人・ご家族様にご理解・納得いただいてから契約をしている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご利用者様からのご意見を大切に事業運営に反映させている		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月定期的に各家族様にお便りと近況の写真を送付し、月1回お小遣い帳にサインを頂き、遠方のご家族様や必要時には電話報告等、個々にあわせた報告をしている  (外部評価) 毎月の請求書と共に利用者の日々の暮らしぶりを書いて写真と一緒に送り、また家族の来訪時にも伝えている。遠方の家族には電話で報告することもある。金銭については毎月出納帳を家族に見せてサインをもらっている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 提案箱を設置し意見を運営に反映させると共にご家族様から直接寄せられるご意見を大切に事業運営に反映させている  (外部評価) 家族の来訪時に話を聞いたり、家族会や運営推進会議でも意見を言ってもらえるよう心がけている。重要事項説明書にホーム及び公的な苦情受付機関を明記し、玄関には意見箱を設置している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会・ワーカー会などの折に運営者にむけて提案はしている		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 緊急時や要望があったときは勤務変更をし柔軟に対応している		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 総合福祉施設のため行事などで他のセクションの職員と顔を合わせることも多く移動・離職によるダメージが出るだけ少なくすむように配慮している  (外部評価) 施設内での異動もあるが、各ユニット間の交流や施設内の合同行事などで他の職員とも顔馴染みの関係をつくり、利用者が不安にならないよう配慮している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修や総合施設として内部研修が毎月あり参加して研さんしている  (外部評価) 外部研修には段階に応じて出張扱いで参加する場合もあるが、積極的に本人が希望する研修に自費で参加している職員もいる。内部研修にも積極的に参加し、資格取得を目指す職員も多い。また、研修内容は会議などで全員に伝えている。	※	今後も更に外部研修に参加し、内部での勉強会を開催し研さんする

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 包括西のエリア内のグループホーム意見交換会や法人内のセクション会に参加し取り組みを行っている		
			(外部評価) 地区のグループホームとの交流があり、勉強会を行っている。また関連施設との交流や学習会に参加してサービスの質の向上を図っている。	※	同業者との交流や連携はホームや職員の質向上にも必要なことであり、さらに積極的に学習会や研修会などの機会を多く作り、日々のケアに活かして行くことを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員はストレスを軽減する工夫が十分出来ていないように思われる	※	職員のストレスを軽減する為発散できる場を作りたい
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は管理者を通じて職員の勤務状況や悩みを把握するように努めている	※	スタッフの長所・短所を理解し個性・特技を生かせる職場としたい
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時から入居前までにご本人からよく話を聞く機会を何度か持つようにしている		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時から入居前までにご家族からよく話を聞く機会を何度か持つようにしている		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 介護保険におけるフォーマル・インフォーマルなサービスを提示し説明の上支援が行えるように親身に対応している		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) デイサービス・ショートステイ・ヘルパー等ご利用ののうち入居となられる方が多い中、入居目的の相談もありすぐに入居となられる方もおられる  (外部評価) 本人や家族にホームに来てもらったり、デイサービスやショートステイなどを利用してから入居することもある。また、本人が来られない場合にはこちらから本人のもとを訪問して説明を行ったり、家族にホームを見学してもらおうなどしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) その人の機能に応じて出来ることをたくさん見つけて楽しみながら支えあえる暮らしをしている  (外部評価) 一緒に過ごす中で利用者の会話の中から学ぶことが多くあり、教えてもらうこともある。また、職員から声をかけて利用者と同じことを楽しんだり、掃除や洗濯なども一緒に行っている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族様が来所されたときに生活の様子を報告。行事などにも参加してもらい一緒に楽しんでもらっている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 自宅に外泊されたり、家族様の自宅に泊まられたり、お墓参りに行かれたり、ご家族様とドライブを楽しまれたりしている		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) お友達が面会に来られたりご家族様と自宅へ帰られたりと継続の支援を行っている	※	ご利用者様になじみのある場所・地域へのドライブなど企画し実行したい
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 協力して一緒に行うことで信頼のできる関係作りに努めている		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ご本人が入院されたり併設の特養に入居された方のご家族様と面会時お会いできた時近況などお話を聞かせて頂いている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の暮らしの中で利用者様のつぶやきや行動から何を思い考えているかつかめるように、またご家族様からの情報も活かして一人ひとりの希望・意向の把握に努めている  (外部評価) 日々の暮らしの中で本人や家族から話を聞いたり、本人のその日の表情や行動などから思いや意向の把握に努めており、状態の変化に応じて対応するよう心がけている。	※	現状に満足せずご利用者様の立場に立って考え行動できるスタッフとして取り組んでいく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 昔話の出来る方にはご本人から、出来にくい方はご家族様にさりげなく伺うようにしている	※	時間を有効活用して色々と伺い把握に努めたい
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 朝夕の申し送りで心身の状態の把握を、介護記録・連絡ノートなどからも情報を得て状況の把握に努めている		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人様の希望・ご家族様の意向等伺いカンファレンス行った上でご利用者様本位のケアプランを作成している  (外部評価) 本人や家族の希望を聞いたり、職員の気づきや意見を取り入れてカンファレンスを行い、状態に合った介護計画を作成している。作成した介護計画は家族に説明しており、遠方の家族には郵送している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護保険の更新時・3ヶ月ごとの見直し時、心身の状況に変化があればその都度見直しを行っている  (外部評価) 3か月に1回見直し及び評価を行っている。モニタリングは月に1回行い、担当の職員が記録している。また、状況が変わればその都度話し合い、新たな介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ケース記録・連絡ノートに記入し情報を共有している	※	個々の記録の記入方法をもっと簡単に分かりやすくしその方の様子の変化にもっと気づくことが出来る記録を目指す
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) ご本人様やご家族様の要望があれば総合福祉施設であることを活かした対応が出来るようにしている  (外部評価) 医療機関の受診支援を行っている。総合福祉施設であるため、施設内の行事に参加して他の利用者と交流したり、施設のバスを利用してドライブに出かけるなどしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 総合福祉施設としてボランティアの方に来ていただいたり地域の民生委員さんには運営推進協議会に出席して頂いている		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 病院受診時にヘルパー対応されている方がおられる		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議・グループホームの意見交換会の場を通じて協働している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 2週間に1度主治医の往診のほか状況に応じてこまめに往診して頂いている。他に入居前からの主治医である病院に家族同伴で受診される方もおられる  (外部評価) 協力医療機関をかかりつけ医としていることが多いが、利用者によっては本人及び家族の希望の医療機関を受診している。受診は個々に合わせて職員または家族が対応しているが、受診内容は職員も必ず把握している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ご利用者様によっては入居前から受診されている心療内科へ参考になるように日ごろの様子を報告支援している		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 管理者が看護師であり、総合福祉施設であるため管理者が不在でも併設の特養の看護師に相談し助言・支援をしてもらっており24時間いつでも連絡がとれる体制としている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ご利用者様の入院中は退院にむけて病院と情報交換を行い、面会時にも出来るだけ情報を収集できるよう努めている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ご家族様ときめ細かく連絡を取り協力病院の医師が24時間対応できるようになっている  (外部評価) ホームとして看取りの指針を示し、早期からではなく、利用者の状態に合わせて話し合うようにしている。協力医療機関と連携して24時間対応可能な体制となっている。職員は月1回ターミナルケアについての勉強会を行っている。	※	利用者にとってはまだ重度化や終末期の対応が必要でない場合であっても、職員のためにも早期から話し合いを行い、対応方針の共有を図っていくことが望まれる。また、状況の変化に応じて繰り返し話し合いをすることを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 総合福祉施設として所内でターミナルケアの勉強会を月1回行っている	※	今後増えていくであろうターミナルケアについて職員全員で協力し合い勉強する
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) アセスメント表・サマリー等を活用して生活の様子等情報を提供できるようにしている		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 親しみやすくていねいな言葉遣いを心がけ、本人様の側で静かにゆっくりと話せるように努めている		
			(外部評価) 職員の言葉かけは穏やかで、配慮した声かけを行っている。トイレや歯磨きの誘導も自然である。管理者及び職員は個人情報の大切さを理解しており、書類は事務所で適切に保管している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) ご本人に出来るだけ自己決定が出来るようにさりげなく支援しその方の認知度に合わせた説明を心がけている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) それぞれの能力や希望に応じた生活が出来るように支援している  (外部評価) ホームとしての1日の流れや1週間の行事予定等はあるが、利用者一人ひとりに合わせて柔軟に支援している。本人の希望や体調に合わせ、個々のペースを大切にしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 総合施設として契約している美容院が月2回・理容院が月1回来所しており殆どの方はこれを利用しているが、入居前から利用している美容院に行かれる方もおられる。外出時はその人らしい装いが出来るように支援している		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 総合施設であるため厨房での調理が主でありグループホームにおいては使用者様と一緒におやつをつくり、楽しんでいる  (外部評価) 食事は厨房で作るためホームでは調理しないが、配膳や下膳、食器洗いは利用者と一緒にしている。主食は各ユニットで作るため、利用者に合わせて粥食やパン食などの工夫もしている。職員は利用者と同じ食事ではないが、利用者とおしゃべりを楽しみながら、必要に応じてサポートしながら食事している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの状況を把握し楽しめる様に支援している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) できるだけトイレでの排泄ができるように排泄パターンを把握し声かけ介助にて対応している		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 午前・午後に分けてその方に合った入浴介助・支援をしている  (外部評価) 利用者一人ひとりの入浴チェックをしており、入浴時間も本人の希望を聞いて支援している。現在は夜間を希望する方はいないので、午前と午後に分けて入浴している。入浴を拒否する利用者には言葉かけなどを工夫して、楽しんで入ってもらえるよう努めている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中なるべく身体を動かしていただき安眠に繋げている。和室の方が安心して休める方もおりそれなりに対応している。また、冬場には手浴・足浴行い安眠できるように支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 可能な範囲で自分のことは自分で行い役割を持って生活していただいている。  (外部評価) ホームや施設の行事に参加したり、自分の趣味（ぬり絵や貼り絵など）を楽しんだりしている。音楽療法は楽しみのひとつで、全員が参加している。また、食事の配膳、下膳や食器洗い、居間の掃除、洗濯物干しなど、役割を持てるよう支援している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 小額を自己管理されている方も居られる。外出時はできるだけご自分で支払いができるように支援している		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 一日1回は外気に触れていただけるよう散歩・歩行練習行いまた、ドライブなどで気分転換できるよう支援している  (外部評価) 天気の良い日はホーム周辺やいつでも出入り可能な中庭を散歩したり、畑の収穫や花の水遣り、移動販売のパンを買いに行くなど、戸外に出かけられるよう支援している。また、年間行事や施設の行事等でも外出する機会をつくっている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 月に1~2回ドライブや外食の機会を持ち都合がつけばご家族様も同行して楽しむことができるよう支援している		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 毎月請求書の発送にあわせてご家族様にむけて手紙を書いていただけるように支援し、文章が書きにくい人にお名前など書いていただけるように支援している。ご家族様・ご友人から季節のたよりを頂く方も居られる。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会に制限はなく気持ちよく来ていただけるよう配慮している。ご本人の近況をお話したり行事への参加の声かけ等おこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 所内の勉強会に参加したが、十分に理解できていない職員もいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中グループホームの玄関は施錠していない。(6時～18時) 夜間は総合玄関で対応している。ユニットの出入り口は施錠されており、職員がご利用者様と一緒に行動し、安全に生活できるように配慮している。  (外部評価) 日中はホームの玄関には施錠していないが、各ユニットの出入り口は、施設の構造上、施錠されている。利用者の出入りがある場合は職員が必ず一緒に行動している。家族の来訪時にはインターホンで対応している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は複数の職員が声かけ・見守りで安全に努めているが夜間は2ユニットを1人の職員が対応しており不安である。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品の保管・管理の取り決めを行い危険防止に努めている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやり・はつとの記入によりスタッフ全員が情報を共有しそのときの対応を考えている。事故発生時は事故報告書を作成しその1ヵ月後にカンファレンスを行いその人に応じた対応をし、事故防止となるよう努めている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時は看護師・施設長に報告し指示を仰ぐ。 年1回救急救命の講習を受けてはいるが、緊急時すぐに対応できるか不安は残る。	※	グループホーム単独の急変や事故発生時の対応の仕方や訓練を行いたい
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 総合福祉施設として年4回防火訓練を実施している  (外部評価) 施設全体で年4回、夜間想定も含む防火訓練を行い、その時の勤務者が参加している。災害対応のマニュアル及び緊急連絡網も作成している。訓練は施設内のみで地域住民の協力を得た訓練は行われていない。	※	災害時（特に夜間）は職員の人数も少ない為、地域の住民に働きかけを行い、地域住民の参加や協力を得た訓練の実施を期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入居契約時や入居されてからも管理者・計画作成担当者がおりにふれお話をさせて頂いている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 常に様子観察を行い異常の早期発見に努め、対応できるようにしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の内容の細かいところまでは把握できていないが用法・容量に変化があったときは確認できている。	※	更に職員がご利用者の服薬している薬を把握できるように指導する

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 運動・水分摂取・食物繊維の摂取行い、必要に応じて主治医に薬の処方をして頂く等、対処している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の口腔ケアの声かけ介助の徹底と必要時訪問歯科診療で対応している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 献立については厨房の栄養士がバランスを考えて立案している。食事量については個々に水分量と共にチェックし把握している。  (外部評価) 食事の献立は施設の栄養士が栄養バランスを考えて作成している。食事摂取量・水分量ともに個々にチェックし、記録に残している。利用者一人ひとりに合わせて刻み食など調理方法も工夫している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 総合福祉施設として勉強会を開催し予防対策など学んでいるインフルエンザの予防についてはご利用者様、職員共に毎年予防接種を受けている マニュアルあり		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 総合施設のため食材は厨房で管理している。栄養士による巡回チェックあり、助言・指導うけている	※	ユニット内の冷蔵庫の掃除など管理の徹底をおこなう

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) プランターに花を植え明るい雰囲気になっている		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングにソファをおいてゆっくり過ごせるようにし、中庭にベンチ・テーブルを備え自由に使い利用している。  (外部評価) 玄関にはテーブルといすが置かれ、居間には畳の部屋があり、家庭的な雰囲気がある。ソファなどの配置はユニットごとに異なっているが、利用者は自分の好きな場所で自由に過ごしている。季節に応じた飾り付けをしており、利用者の書道作品なども飾っている。中庭も自由に出入りでき、ほっとする空間となっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファやリビングのテーブルを利用してなんとなく一人になれる場所を提供している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) できるだけ自分の居室らしくなるよう少ない馴染みの品を活用しているが、仏壇まで持参された方もおられる。  (外部評価) 居室にはそれぞれ家庭で使っていた思い思いの物が持ち込まれている。写真、カレンダー、季節を感じる飾りなどが思い思いに配置されており、その人らしい個性的な部屋となっている。部屋の掃除は利用者が職員と共にやっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎朝窓を開けて外気を取り込み、夏・冬はエアコンを活用して快適に暮らせるように配慮している。のどの弱い方には冬場にリビングや居室に加湿器やぬれタオルをかけて対応している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 屋内要所に手すりを付け安全に歩行出来るように配慮しまた、車椅子で安全に移動できる広さも確保している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 表札や場所・物に名前を書いて混乱を防ぐようにしている。	※	ワーカー会などを利用して一人ひとりの生活力をどのように把握しているか職員間のずれをただし活用する
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベランダ・駐車場を洗濯物を干したり歩行練習ができる場として活用している。 中庭を食事・おやつ・レクリエーションの場として活用している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日頃から一人ひとりとコミュニケーションを取りどんな事をしたいか把握に努めている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	毎日、午前と午後ゆっくりお茶する時間がある
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの生活を大切に楽しく意欲のある生活が出来るようにしている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔で答えてくれる
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	少数・ユニット全体でドライブ・食事などでかけている 近所への散歩・歩行練習にも出かけている
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	かかりつけ医との連携がとれており、看護師も常勤している 入居前からの主治医へ家族様やヘルパー同行で定期受診し必要があれば受診されている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ご利用者様の訴えに対処しお話を伺い解決策を一緒に考えている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時・ケアプラン更新時にお話する時間をとりめったに来られないご家族様には電話や書面で対応している
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	ご家族様・ご友人・お身内の方など面会に来られる

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	担当地区の民生委員さんが参加
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) ③ 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	気持ちの切り替え・ストレスの発散がうまくできない職員が居るようだ
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	共同生活と言う制約がある生活なので全員が満足できる生活は送れていないように思われる
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	特に不満を聞く事はないが面会時などにそれとなくお話を伺うようにしている

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

高齢者総合福祉施設として成り立っており周辺には住宅・田園が広がっている。重信河・出合橋の直ぐ横に位置しており豊かな自然が残っている。

併設施設であるため施設内で職員移動はあるが情報の共有が出来ており、ご利用者様の移動に際しても手厚い支援を行うことができる。

また、法人内で防災・事故防止等のマニュアルが統一されており所内の職員教育も充実している。



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
**“愛媛県地域密着型サービス評価”**

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム であい

(ユニット名) 梅の宿

記入者(管理者)  
氏名 長岡 千里

評価完了日 平成 20 年 8 月 25 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 利用者様とどんな風に暮らしたいか職員とBS法で考えて作った。  (外部評価) 利用者の日々の生活を支えるために職員全員で考えた理念であり、開設当初からのものである。地域という言葉は入っていないが、運営方針に地域社会とのつながりを図ることが書かれており、職員も認識している。再度検討した結果、理念の変更は行わないこととしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 日々理念を共有し取り組んでいる。  (外部評価) 理念は各ユニットの見やすいところに掲示し、管理者及び職員は理念に沿って利用者の日々の暮らしを支えている。利用者の穏やかで明るい表情や、各々のペースで自由過ごしていることから、そのことがうかがえる。	※	職員全員が理念を理解し共有できるように話し合いの場を設け日々取り組めるようにしたい。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ご家族様にはご理解いただけていると思うが地域への浸透はできていない。	※	運営推進会議を活用して地域に理念の浸透を図りたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 出・退勤時や、ご利用者様との散歩時、挨拶したり声掛けを行っている。	※	近所、隣近所の施設などに季節のイベントの声かけを行っていきたい
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 近隣の施設の行事に参加したり、当施設の季節行事に参加の声掛けを行い交流を深めている。  (外部評価) 自治会には入っていないが、ボランティアに来てもらったり、祭りの時には神輿が入ってくれている。ホーム周辺を散歩する時には近所の方と挨拶を交わしている。また、施設として介護予防教室を開催しており、地域の方が出席している。管理者が民生委員の会に出席しているが、ホーム行事は家族の参加が主となっており、ホーム独自での地域との交流は多いとは言えない。	※	運営推進会議・民生委員会を活用して地域に理念の浸透を図りたい  重要事項説明書の運営方針に書かれているように、利用者の地域参加は地域社会とのつながりの基本であり、施設としてだけでなく、ホーム独自で地域との交流機会を多く持つような取組みを期待したい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 総合福祉施設として高齢者等の相談に親身に対応している。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 意義を理解し評価を職員全員で受け止め改善に取り組んでいる。  (外部評価) 管理者及び職員は評価の意義を理解しており、自己評価も全員で取り組んでいる。自己評価することにより、日々の振り返りができている。外部評価については改善項目について話し合い、改善に取り組んでいる。また、運営推進会議でも報告している。	※	見直したことを忘れない様、折に触れて話し合いの場を持ちたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に一度会議を開催し活動報告や取り組み内容を報告し話し合いの場を設けている。  (外部評価) 利用者及び家族、地域住民、市担当者、地域包括支援センター職員、施設長をメンバーとして開催し、ホームの活動計画・報告や意見交換を行っている。地域住民の参加は民生委員に固定されている。	※	さらに地域との交流を深めるためにも、民生委員だけでなく町内会長など他の住民にも声をかけて参加してもらい、地域の情報や意見などを聞くことを望みたい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市町村と常に連携をとり質の向上に取り組んでいる。  (外部評価) 書類上の手続きや分からないこと、また生活保護の利用者についてなど、連絡や相談をしてサービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護や成年後見人制度について理解し、支援している。	※	勉強会を繰り返すことで制度を理解できるようにしたい
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止法について勉強し虐待防止に努めている。	※	勉強会を繰り返すことで制度を理解できるようにしたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に時間をかけて説明し、ご本人・ご家族様にご理解・納得いただいた上で契約している。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご利用者様からのご意見を大切に事業運営に反映させている		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月定期的に各家族様へお便りをお出ししたり、月1回お小遣い帳にサインを頂いたり、個々にあわせた報告をしている。  (外部評価) 毎月の請求書と共に利用者の日々の暮らしぶりを書いて写真と一緒に送り、また家族の来訪時にも伝えている。遠方の家族には電話で報告することもある。金銭については毎月出納帳を家族に見せてサインをもらっている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 提案箱を設置し意見を運営に反映させると共にご家族様から直接寄せられるご意見を大切に事業運営に反映させている。  (外部評価) 家族の来訪時に話を聞いたり、家族会や運営推進会議でも意見を言ってもらえるよう心がけている。重要事項説明書にホーム及び公的な苦情受付機関を明記し、玄関には意見箱を設置している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会・ワーカー会などの折に運営者にむけて提案はしている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 緊急時や要望があったときは、勤務変更をして柔軟に対応している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 総合福祉施設のため、行事などで他のセクションの職員と顔を合わせる機会も多く、移動・離職によるダメージが出来るだけ少なくすむように配置している。  (外部評価) 施設内での異動もあるが、各ユニット間の交流や施設内の合同行事などで他の職員とも顔馴染みの関係をつくり、利用者が不安にならないよう配慮している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修や総合施設として内部研修が毎月あり参加して研さんしている。  (外部評価) 外部研修には段階に応じて出張扱いで参加する場合もあるが、積極的に本人が希望する研修に自費で参加している職員もいる。内部研修にも積極的に参加し、資格取得を目指す職員も多い。また、研修内容は会議などで全員に伝えている。	※	今後もさらに外部研修に参加し、内部で勉強会を開催し研さんする

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 包括西のエリア内のグループホームの意見交換会や法人内のセクション会に参加し取り組みを行っている。		
			(外部評価) 地区のグループホームとの交流があり、勉強会を行っている。また関連施設との交流や学習会に参加してサービスの質の向上を図っている。	※	同業者との交流や連携はホームや職員の質向上にも必要なことであり、さらに積極的に学習会や研修会などの機会を多く作り、日々のケアに活かして行くことを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員はストレスを軽減するくふうが十分出来ていないように思われる	※	職員のストレスを軽減する為発散できる場を作りたい
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は管理者を通じて職員の勤務状況や悩みを把握するように努めている	※	スタッフの個性や特技を生かせる職場にしていきたい
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時から入居前までにご本人様からよく話を聞く機会を何度か持つようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時から入居前までにご家族様からよく話を聞く機会を何度か持つようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 介護保険におけるフォーマル・インフォーマルなサービスを提示し説明の上、支援が行えるように親身に対応している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) デイサービス・ショートステイ・訪問介護等ご利用の後入居される方が多い中、入居目的の相談もありすぐに入居となられる方もおられる。  (外部評価) 本人や家族にホームに来てもらったり、デイサービスやショートステイなどを利用してから入居することもある。また、本人が来られない場合にはこちらから本人のもとを訪問して説明を行ったり、家族にホームを見学してもらおうなどしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の生活の中でコミュニケーションをとり、一緒に生活を楽しみながら関係を築いている。  (外部評価) 一緒に過ごす中で利用者の会話の中から学ぶことが多くあり、教えてもらうこともある。また、職員から声をかけて利用者と同じことを楽しんだり、掃除や洗濯なども一緒に行っている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族様のお話を聞きし共に本人を支えていけるよう関係を築いている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事に参加していただいたり月1回は手紙を書いて頂くなど支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) お友達が面会に来られたりご家族様と自宅へ帰られたりと継続の支援を行っている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 日常生活の中で協力し合い助け合うことで、利用者様同士が関わり支えあえるよう支援している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ご本人が入院されたり併設の特養に入居された方のご家族様と面会時お会いできた時、近況などお話を聞かせていただいている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常生活の中で一人ひとりの希望や意見をお聞きしている。また、利用者様本位に考え把握できるように努めている。  (外部評価) 日々の暮らしの中で本人や家族から話を聞いたり、本人のその日の表情や行動などから思いや意向の把握に努めており、状態の変化に応じて対応するよう心がけている。	※	今の状態に満足せずご利用者の立場に立って考えることができるスタッフとして取り組んでいく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活歴やなじみの暮らし等、会話の中で聞き把握に努めている。	※	まだまだ聞かせていただきたいことは多々あるので時間を有効活用したい
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 現状を把握できるように記録に残し申し送りを行っている。	※	今以上に情報の共有を図りご利用者様の現状の把握に努める
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人やご家族様のお話をお聞きし職員とも話し合いの場を設けてご利用者様本位の計画を作っている。  (外部評価) 本人や家族の希望を聞いたり、職員の気づきや意見を取り入れてカンファレンスを行い、状態に合った介護計画を作成している。作成した介護計画は家族に説明しており、遠方の家族には郵送している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3月に一度の見直しと変化があった場合その都度ケアプランを作成す。  (外部評価) 3か月に1回見直し及び評価を行っている。モニタリングは月に1回行い、担当の職員が記録している。また、状況が変わればその都度話し合い、新たな介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別に記録し情報を共有しているが記録の方法を模索中である	※	個々のケース記録の記入方法をもっと分かりやすくしその方の様子の変化にもっと気づくことが出来る記録を目指す
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) そのときの状況や要望に総合福祉施設であることを活かした対応が出来るようにしている。  (外部評価) 医療機関の受診支援を行っている。総合福祉施設であるため、施設内の行事に参加して他の利用者と交流したり、施設のバスを利用してドライブに出かけるなどしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 総合福祉施設としてボランティアの方が来られたり、地域の民生委員さんには運営推進会議に出席していただいている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 受診時にヘルパー対応されている方がおられる。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議・グループホームの意見交換会の場を通じて協働している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 2週間に1回主治医の往診のほか状況に応じての往診もこまめにに応じていただける。他に入居以前からの主治医である病院に家族様同伴で受診される方もおられる。  (外部評価) 協力医療機関をかかりつけ医としていることが多いが、利用者によっては本人及び家族の希望の医療機関を受診している。受診は個々に合わせて職員または家族が対応しているが、受診内容は職員も必ず把握している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医への受診に日ごろの状態を報告支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 管理者が看護師であり総合福祉施設であるため、管理者が不在でも併設の特養の看護師に相談し助言・支援をしてもらっており、24時間連絡の取れる体制としている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時病院との情報交換や相談に努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 介護保険の更新時ご家族様に今後の対応についてご意見を伺ったり、ご家族様と細かく連絡を取り話し合い、協力病院との連携で24時間対応している。  (外部評価) ホームとして看取りの指針を示し、早期からではなく、利用者の状態に合わせて話し合うようにしている。協力医療機関と連携して24時間対応可能な体制となっている。職員は月1回ターミナルケアについての勉強会を行っている。	※	利用者にとってはまだ重度化や終末期の対応が必要でない場合であっても、職員のためにも早期から話し合いを行い、対応方針の共有を図っていくことが望まれる。また、状況の変化に応じて繰り返し話し合いをすることを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 総合福祉施設として所内でターミナルケアの勉強会を月1回行っている。	※	今後増えていくであろうターミナルケアについて、職員全員で協力し合い勉強していきたい
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) アセスメント表・サマリー等を活用して生活の様子など情報を共有できるようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 親しみやすくていねいな言葉遣いを心がけ、ご本人様のそばで静かにゆっくりと話せるように努めている。  (外部評価) 職員の言葉かけは穏やかで、配慮した声かけを行っている。トイレや歯磨きの誘導も自然である。管理者及び職員は個人情報の大切さを理解しており、書類は事務所で適切に保管している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) ご本人様が希望や思いを表せるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースを大切にし希望に添えるように支援している。  (外部評価) ホームとしての1日の流れや1週間の行事予定等はあるが、利用者一人ひとりに合わせて柔軟に支援している。本人の希望や体調に合わせ、個々のペースを大切にしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 総合施設として契約している美容院が月2回・理容院が月1回来所しており殆どの方はこれを利用されているが、入居前から利用されているなじみの美容院へ行かれている方や娘様がカットされる方もおられる。外出時にはその方らしい服装が出来るように支援している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ご利用者様と職員と一緒に食事・後片付けしている。  (外部評価) 食事は厨房で作るためホームでは調理しないが、配膳や下膳、食器洗いは利用者と一緒にやっている。主食は各ユニットで作るため、利用者に合わせて粥食やパン食などの工夫もしている。職員は利用者と同じ食事ではないが、利用者とおしゃべりを楽しみながら、必要に応じてサポートしながら食事している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの状況を把握し楽しめる様に支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを把握し見守り・声掛けにて支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一人ひとりのタイミングにて支援を行っている  (外部評価) 利用者一人ひとりの入浴チェックをしており、入浴時間も本人の希望を聞いて支援している。現在は夜間を希望する方はいないので、午前と午後に分けて入浴している。入浴を拒否する利用者には言葉かけなどを工夫して、楽しんで入ってもらえるよう努めている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) ゆっくり安心して休めたり眠れるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 張り合いとなれるよう日々、掃除・洗濯干し・畳み等の役割や楽しみごとの支援をしている。  (外部評価) ホームや施設の行事に参加したり、自分の趣味（ぬり絵や貼り絵など）を楽しんだりしている。音楽療法は楽しみのひとつで、全員が参加している。また、食事の配膳、下膳や食器洗い、居間の掃除、洗濯物干しなど、役割を持てるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご自分で財布を持ち使えるよう支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 日常的に散歩に行き外の景色など楽しめるよう支援している。  (外部評価) 天気の良い日はホーム周辺やいつでも出入り可能な中庭を散歩したり、畑の収穫や花の水遣り、移動販売のパンを買いに行くなど、戸外に出かけられるよう支援している。また、年間行事や施設の行事等でも外出する機会をつくっている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 月に何度か施設のバスにて外出し、家族様にもお声掛けし一緒に出かけられるよう配慮している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 毎月請求書の発送にあわせてご家族様に向けて手紙を書いていただくよう支援し、文章がかけにくい方にはお名前など書いて頂けるよう支援している。ご家族・ご友人様から季節の便りを頂く方もおられる。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会に制限は無く気持ちよく来ていただけるよう配慮している。ご本人様の近況をお話したり行事への参加の声掛け等も行っている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 所内の勉強会に参加したが十分に理解できていない職員もいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中グループホームの玄関は施錠されていない。(6時～18時) 夜間は総合玄関で対応している。ユニットの出入り口は施錠されており、職員がご利用者様と一緒に行動し、安全に生活できるように配慮している。  (外部評価) 日中はホームの玄関には施錠していないが、各ユニットの出入り口は、施設の構造上、施錠されている。利用者の出入りがある場合は職員が必ず一緒に行動している。家族の来訪時にはインターホンで対応している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は複数の職員が声掛け・見守りで安全に努めているが夜間は2ユニットを1人の職員が対応しており不安である。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品の保管・管理の取り決めを行い危険防止に努めている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやり・はつとの記入によりスタッフ全員が情報を共有しそのときの対応を考えている。事故発生時は事故報告書を作成しその1ヵ月後にカンファレンスを行いその人に応じた対応をし、事故防止になるように努めている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時は施設長・看護師に報告して指示を仰ぐ。年1回救急救命の講習を受けてはいるが、緊急時すぐに対応できるか不安は残る。		グループホーム単独の急変や事故発生時の対応の仕方や訓練を行いたい
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 総合福祉施設として年4回防火訓練を実施している。  (外部評価) 施設全体で年4回、夜間想定も含む防火訓練を行い、その時の勤務者が参加している。災害対応のマニュアル及び緊急連絡網も作成している。訓練は施設内のみで地域住民の協力を得た訓練は行われていない。	※	災害時（特に夜間）は職員の人数も少ない為、地域の住民に働きかけを行い、地域住民の参加や協力を得た訓練の実施を期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入居契約時や入居されてからも管理者・計画作成担当者がおりにふれてお話をさせていただいている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 常に様子観察を行い異常の早期発見に努め、対応できるようにしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の内容の細かい所までは把握できていないが、用法・容量に変化があった時は確認できている。	※	更に、職員がご利用様が服用されている薬を把握できるように指導する

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 運動・水分摂取・食物繊維の摂取行い、必要に応じて主治医に薬の処方をして頂く等対処している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の口腔ケアの声掛け介助の徹底と必要時訪問歯科診療で対応している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 献立については厨房の栄養士がバランスを考えて立案している。食事量については個々に水分量と共にチェックし把握している。  (外部評価) 食事の献立は施設の栄養士が栄養バランスを考えて作成している。食事摂取量・水分量ともに個々にチェックし、記録に残している。利用者一人ひとりに合わせて刻み食など調理方法も工夫している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 総合福祉施設として勉強会を開催し予防対策など学んでいる。インフルエンザの予防についてはご利用者様職員共に毎年予防接種受けている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 総合施設の為食材は厨房で管理している。栄養士による巡回チェックあり、助言・指導受けている。	※	ユニット内の冷蔵庫の掃除など管理の徹底をおこなう

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りに花を植えたり飾りつけをしたり、安心して出入りしてもらえるようにしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングにソファを置いてゆっくり過せるようにしたり、中庭を自由に過せるようにしている。  (外部評価) 玄関にはテーブルといすが置かれ、居間には畳の部屋があり、家庭的な雰囲気がある。ソファなどの配置はユニットごとに異なっているが、利用者は自分の好きな場所で自由に過ごしている。季節に応じた飾り付けをしており、利用者の書道作品なども飾っている。中庭も自由に出入りでき、ほっとする空間となっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 和室やソファにて独りになったり、思い思いに過されている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 出来るだけ自分の居室らしくなるように少ないなじみの品を活用しているが、独り暮らしの居室をそのまま再現されている方もおられる。  (外部評価) 居室にはそれぞれ家庭で使っていた思い思いの物が持ち込まれている。写真、カレンダー、季節を感じる飾りなどが思い思いに配置されており、その人らしい個性的な部屋となっている。部屋の掃除は利用者が職員と共にやっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 状況に応じ温度調節換気に努めている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 屋内各所に手すりを付け安全に歩行できるように配慮し、また、車椅子で安全に移動できる広さも確保している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりが自立して暮らせるように要所に手すりがある。	※	ワーカー会などを利用して一人ひとりの生活力をどのように把握しているか職員間の解釈のずれを正し活用する
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 中庭にてレクリエーションなど楽しみ場として活用している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日ごろから一人ひとりとコミュニケーションをとり、どんなことをしたいか把握に努めている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	毎日午前と午後ゆっくりお茶する時間がある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの生活を大切にして楽しく意欲のある生活が出来るようにしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔で答えてくれる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	少数・またはユニット全体でドライブ・食事など出かけている。 近所に散歩や歩行練習にも出かけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	かかりつけ医との連携が取れており看護師も常勤している。 入居前からの主治医へ家族様やヘルパー同行で定期受診し必要があれば再度受診されている。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ご利用者様の訴えに対処し、お話を伺い解決策を一緒に考えている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時・ケアプラン更新時にお話する時間をとったり、めったに来られないご家族様には電話や書面で対応している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	ご家族様・ご友人・お身内の方など面会に来られる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	担当地区の民生委員さんが新たに参加される。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	気持ちの切り替え・ストレスの発散がうまく出来ない職員がいるようだ。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	共同生活という制約が有る生活なので全員が満足できる生活は送れていないように思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	特に不満を聞くことは無いが、面会時にそれとなくお話を伺うようにしている。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

高齢者総合福祉施設として成り立っており周辺には住宅・田園が広がっている。重信河・出合橋のすぐ横に位置しており豊かな自然が残っている。航空機の進入路の真下にあたり迫力のある飛行機の着陸や重信河の四季を5階のケアハウスの廊下から見る事ができる。併設施設である為施設内で職員移動はあるが情報の共有は出来ており、ご利用者様の移動に際しても手厚い支援を行うことが出来る。また、法人内で防災・事故防止マニュアルが統一されており所内の職員教育も充実している。